

「津軽・美・人プロジェクト」の第1弾として開いたシンポジウム



「津軽・美・人PJ」第1弾

弘前大学で地域連携を について理解を深めた。

今回は浅野清生涯学習 などを紹介した。

推進する生涯学習教育研 シンポジウムは主催者 津田さんは十和田市現 究センター、地域共同研 が連携して同大の知的研 会を務め、加藤陽治副学 代美術館と商店街をつな 究センター、大学院地域 究成果を地域社会に発信 長、大学院地域社会研究 ぐ取り組みなどを紹介。 社会研究科が主催するシ し、地域活性化につなげ 科博士課程1年津田純佳 これを踏まえ弘前市につ ンポジウム「津軽の美と ようと6月から取り組ん さん、同センター講師の いて、レンガ倉庫や空き 店舗を利用し「ウラヒ

活性化へ住民らシンポ

地域連携に理解深め

大 弘

人を考える「健康で美し ている「津軽・美・人PJ 深作拓郎さんがパネリス どうかと提案し、「それ が学生が地域に足を運ぶ きっかけになったり、地

学は挑戦します」が5日、 両センターと同研究科が シンポジウムでは加藤 副学長が弘大が取り組む 域の人が大学に敷居の高 さを感じさせない取り組 みになるのでは」などと つ環境から見た地域づく

約40人が参加し地域連携 かれた。

況、深作さんが子供の育



地域住民や関係者らが地域連携について考えた

この画像は、陸奥新報社提供です。無断転載はできません。